

琉球大学学術リポジトリ

[抄録] 西表島の農業資源開発に託する希望

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 島袋, 俊一 (抄録) , Shimabukuro, Shun-ichi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015108

西表島の農業資源開発に託する希望

(泉有平：南と北 No.21 1962 23~35)

西表島に所在する資源については日米調査団などの報告にかなり明らかにされている。開発の目標となっている農業資源とは、

1. 亜熱帯性の気候、年次平均気温 20°C 以上、年降水量2,600ミリ。
2. 豊富な水量、浦内川、仲良川、仲間川などの河川が多い。
3. 広汎にわたる公有地、開田開畑可能の面積5,377アールと推算される。外に牧野、農用林、防風林、防潮林、道路、水路、宅地の予定あり、然も多くは日本国有地又は公有地である。

西表島農業資源開発上の諸問題

1. 各種基本施設、例えば農地造成、防災施設、陸運施設、教育、文化、発電施設。
2. 土壌保全
3. 適作物の栽培と生産の計画性、例えば自然条件に適応するのみならず農業所得の増加価値の高いもの。甘蔗作、パイン其他の果実、高級および早期野菜、稀少価値をもつ植物の栽培、肉牛の生産など。
4. 試験研究および指導機関の設置
5. 開発政策を所管する行政機構
6. 開発金融、特に低利長期返済、長期据置などの条件を必要とする金融。

要之私経済的には換金生産を活発にして現金収入を多からしめ、公経済上からは輸出入の均衡を保持するに役立つ、琉球経済に寄与することが西表島の農業資源開発の成果とならなければならない。(抄録・島袋俊一)